

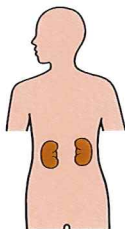


Q：腎がんについて教えてください。

A：腎臓は背中肋骨下端ぐらゐの位置にあり、後腹膜より背中側の後腹膜腔という所にある臓器で、左右に一つずつあります。機能は血液の恒常性を保つということですが、具体的には血液をろ過して尿を作り、老廃物や異物を排泄し、酸の排泄をして酸塩基平衡の調節をし、体液の浸透圧や組成を維持・調節しています。腎臓にできるがんは、腎細胞がんと腎盂がんが主ですが、90%が尿細管上皮細胞から発生する腎細胞がんで、好発年齢は50〜70歳代、男女比は2〜3対1で男性に多

く、喫煙で罹患リスクが2倍になると言われています。早期では症状があることはまれですが、腫瘍が大きくなると古典的3主徴と言われる血尿、疼痛（背部痛）、腹部腫瘤などの症状がみられるようになります。

最近では、無症状で、健診や人間ドックの超音波検査やCT検査で偶然発見される症



例が増えていきます。治療の主体は外科療法です。手術ができる場合は腎臓の摘出、あるいは部分的に摘出することが一般的です。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F）

☎055・288・1801